TAKIZUMI

LEDシーリングライト

取扱説明書

GYL8R0090803

保証書添付　保管用

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 ROX80156

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止

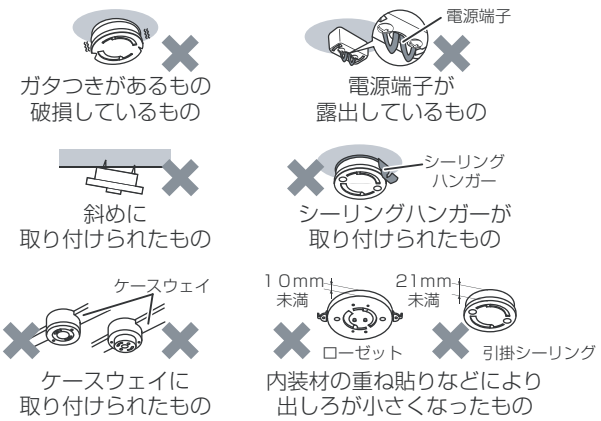
◎この器具は水平天井専用です。

■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



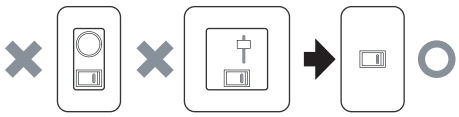
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください）
https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

必ず守る

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度が高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

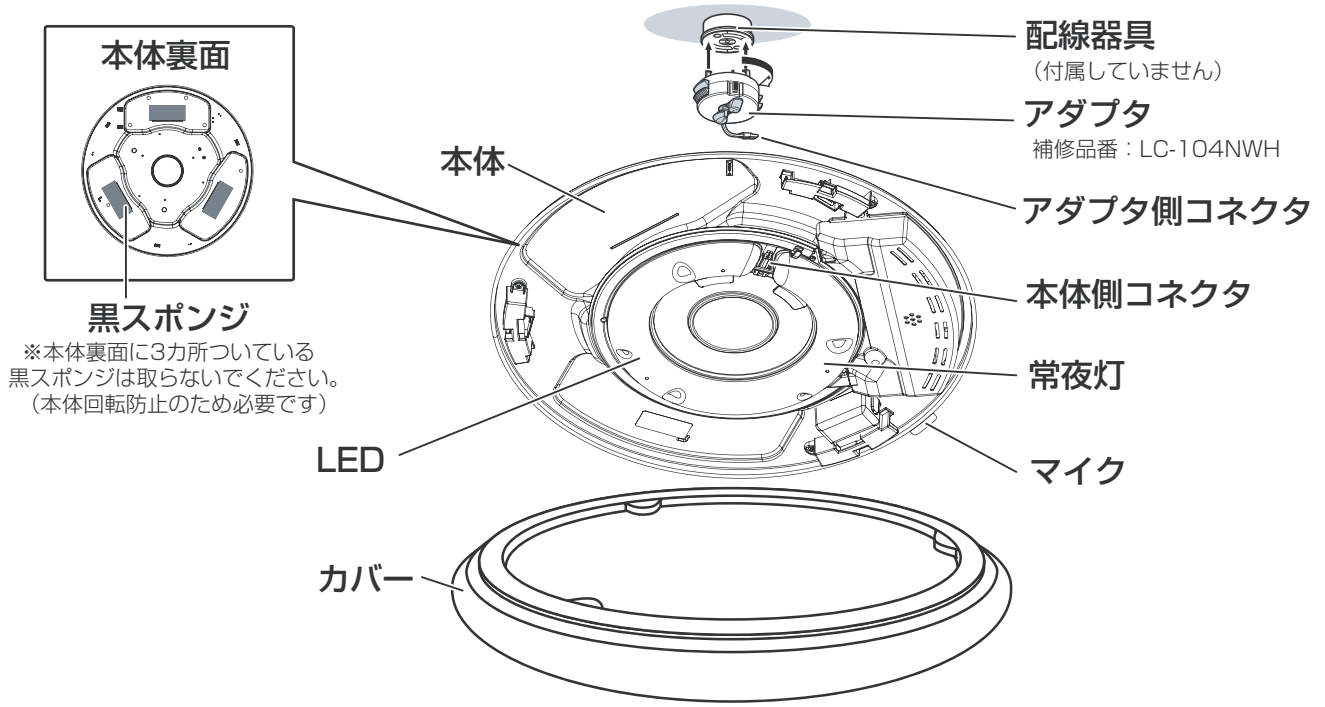
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

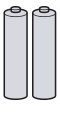
取付ける前にまず付属部品をご確認ください



リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-009

単4形
乾電池
2個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。

※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

天井からの出しろが22mmの配線器具

天井からの出しろが11mmの配線器具

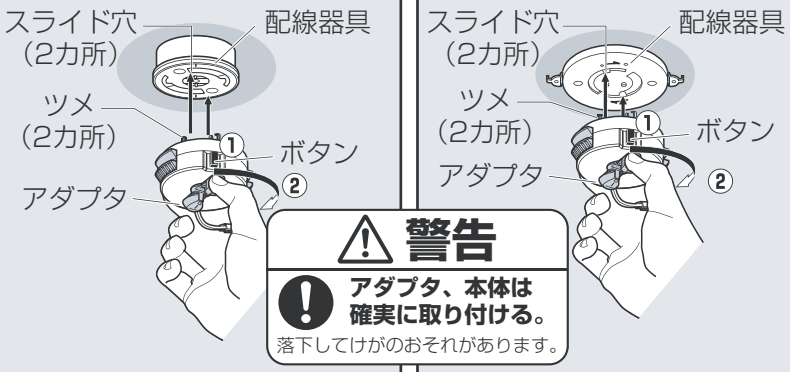
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

① 位置を合わせる。
アダプタのツメ（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる。

② **カチッ**と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

⚠ 警告
アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。



⚠ 警告
アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける。

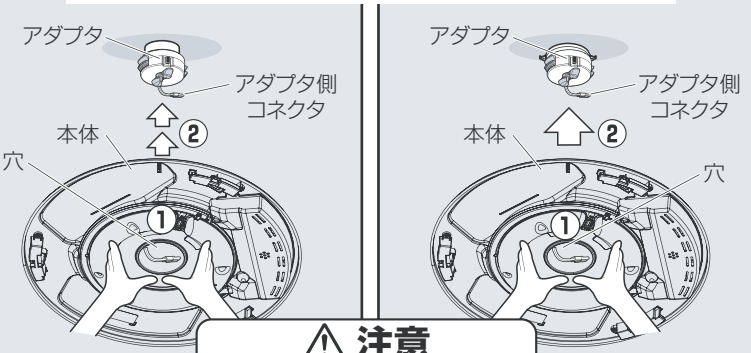
① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。

② アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。

③ アダプタのツメ（白）が見えることを確認する。

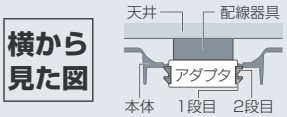
④ アダプタのハンドルをロックする。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
下記を参考に押し上げてください。

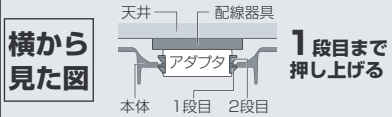


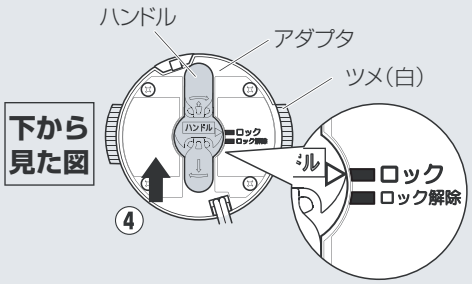
⚠ 注意
本体の穴のまわりを押しあげる。

カチッ カチッ と2度、音がするまで押し上げる。



カチッと1度、音がするまで押し上げる。

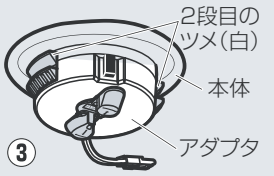




ハンドルをスライドさせて
▲印をロックの位置に合わせる。

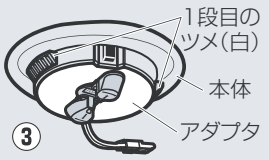
アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ（白）が両方見える。



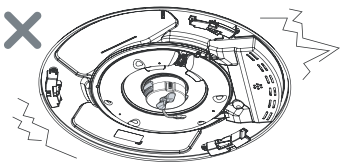
アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ（白）が両方見える。

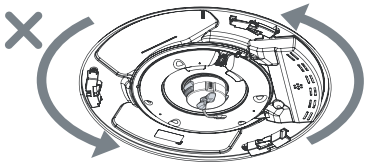


4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認 右図の場合、正しく取付けされていないので手順 3 を再度行なってください。



本体がグラグラする



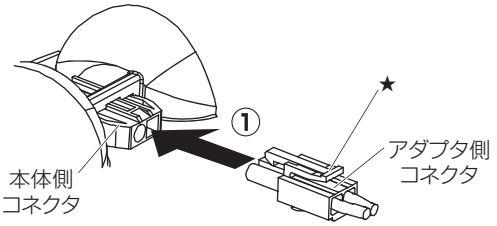
本体が簡単に回転する

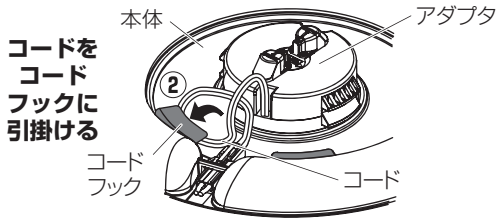
（次ページにつづく）

5 コネクタを接続する。

① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。

② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。





確認 ★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

⚠ 警告

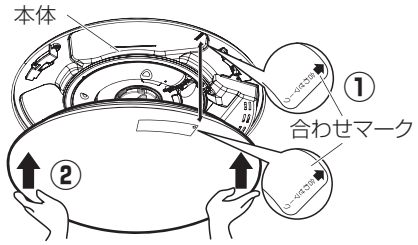
コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。 器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

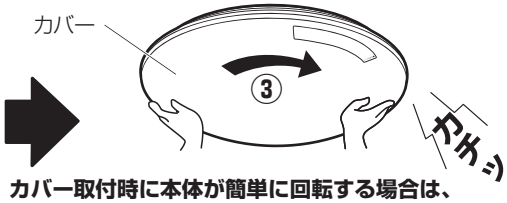
6 カバーを取り付ける。

① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。

② カバーを持ち上げる。

③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。





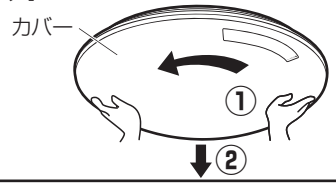
カバー取付時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。手順 3 に戻って本体の取付を確認してください。

確認 カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

① カバーを左に回す。

② カバーを外す。



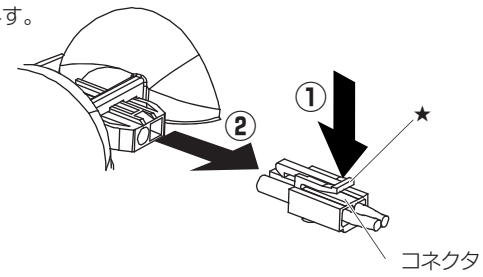
照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 コネクタを外す。

① コネクタの★の部分を押さえながら

② 取り外す。



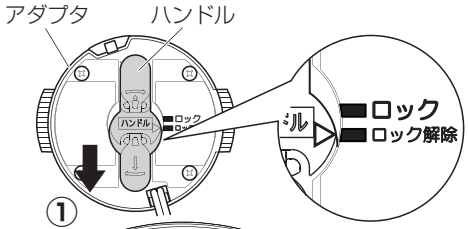
2 本体を取り外す。

① アダプタのロックを解除する。

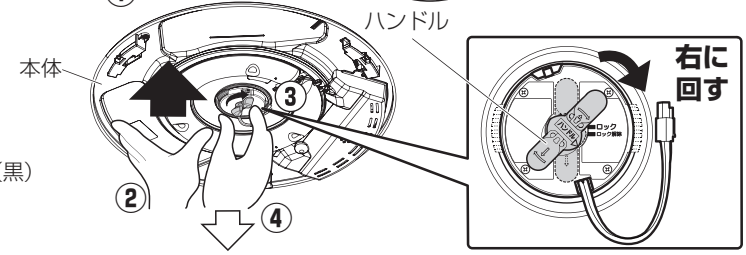
② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら

③ ハンドルを右に回す。

④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



ハンドルをスライドさせて▲印をロック解除の位置に合わせる。



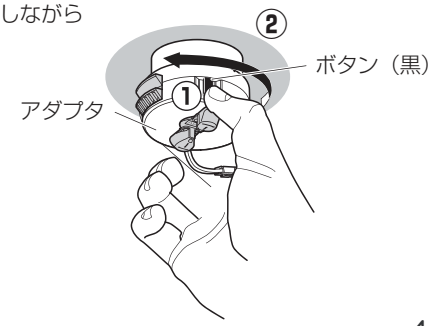
⚠ 警告

本体が落ちないようにしっかりと支えてください。
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタを外す。

① ボタン（黒）を押しながら

② 左に回して外す。



あかりをつける・消す

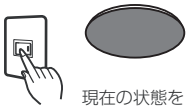
壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

「入」

記憶している前回の
状態で点灯します。
（初期設定：消灯）

「切」



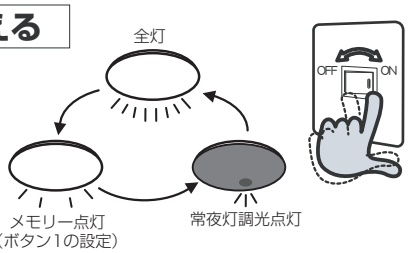
現在の状態を
記憶して
消灯します。

●ただし、リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合、
現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後に
メモリーボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。

●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く
（約３秒以内に）
ＯＦＦ⇔ＯＮと
切り替えると次の順に
点灯状態が切替ります。



●初期設定はメモリーボタンに（明るさ：100%）
の状態で記憶されています。

●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。（乾電池を除く）

全灯・消灯ボタン

全灯、消灯を行います。
押すたびに 全灯⇒消灯⇒全灯 を繰り返します。

全灯状態を長押し（３秒以上）で、操作する
照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒（8ページの２台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

●この器具は、音声またはリモコンで消灯している場合約１W以下の
電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、
壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

常夜灯ボタン

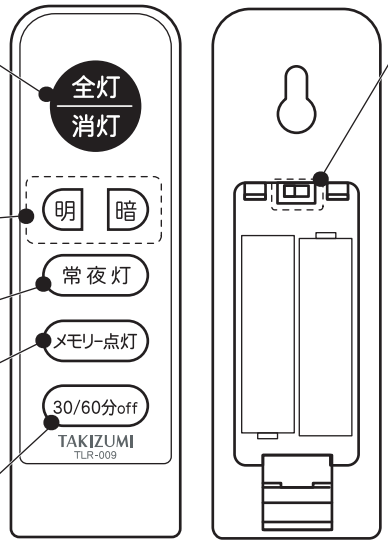
常夜灯を点灯します。

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。
ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定（明るさ：100%）
⇒（7ページ上のリモコンで点灯状態を調節し
記憶させるを参照）

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または
60分後に自動消灯を行います。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと
「ピー」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。



押すごとに下記の動作を繰り返します

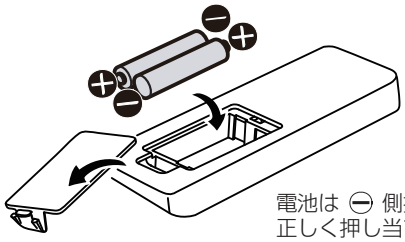
60分後消灯（「ピッピッピッ」と音がする）→ 30分後消灯（「ピッピッ」と音がする）

チャンネル切替スイッチ

チャンネル切り替えスイッチは電池蓋の中にあります。
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（8ページの２台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

電池蓋

乾電池の入れかた



リモコンのフタを開けて
単4形乾電池2本の⊕⊖を
正しくあわせて入れる

電池は ⊖ 側接点をリモコンのバネに
正しく押し当てながら装填してください。

●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
●電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。
発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
●交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
●長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

確認　**リモコンを操作する場合は
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。**

音声であかりを操作する

音声での操作は、照明器具本体が チャンネル1 でのみ操作可能です。

合言葉で照明器具を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

照明器具を取り付けて、壁スイッチを「入」にする。特別な設定は不要です。
照明器具に向かって 下記の合言葉をかけてください。照明器具が動作します。（※合言葉は変更できません。）
音声とリモコンの両方で操作が可能です。（照明器具本体、リモコンが チャンネル1 の場合）

※初期設定はチャンネル1です。音声での操作がご不用の場合は照明器具本体、リモコンを チャンネル2 でお使いください。
※この器具は、音声またはリモコンで消灯している場合約１W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、
　壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。
※音声操作の認識は100%動作を保証するもので はありません。

合言葉	点灯動作
ラボでんきつけて	メモリーの状態になります。※1
ラボでんきけして	消灯します。
ラボぜんとう	全灯します。
ラボあかるく	3段階明るくなります。※2
ラボくらく	3段階暗くなります。※2
ラボまめきゅう	常夜灯になります。

※1　メモリーのおこのみの明るさ設定は付属のリモコンで行ってください。（初期設定 明るさ：100%）
※2　点灯状態が上限または下限に達した時には、ピピピと短くブザー音が鳴ります。

速報音で照明器具が自動点灯する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

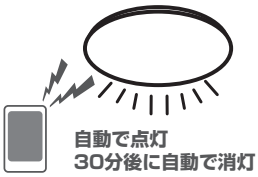
災害発生時などにスマートフォン、携帯電話から発せられる速報音で照明器具が自動点灯します。

自動で点灯し、30分後に自動消灯します。

自動消灯を解除したい場合は、壁スイッチの OFF⇒ON 操作で
解除を行ってください。

（リモコン・音声操作、壁スイッチで点灯状態を切り替える操作（P.5右上）では自動消灯の解除は出来ません）

注）停電時や壁スイッチが「切」の時は点灯しません。
照明器具本体がチャンネル2の状態では点灯しません。
周囲の状況によっては点灯しない場合があります。



速報音	点灯状態
緊急地震速報	全灯
津波警報・災害 避難情報	メモリー
気象等に関する特別警報	

※端末（スマートフォン、携帯電話）が照明器具本体から遠い時、
複数の端末で同時に速報音が鳴った時、
電気通信業者の速報音の種類によっては、認識しない場合があります。

音声操作に関する　Q&A

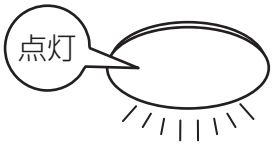
その他のQ&Aに関しては7ページの「故障かな？とおもったら」をご確認ください

現　象	考えられる原因と対策
音声で動作しない 音声で動作しにくい	壁スイッチは「入」の状態になっているかご確認ください。
	合言葉が異なると認識しません。正しい合言葉を最後まではっきりと発音してください。
	”ラボ ”と ”操作指示“ の間に間隔をあけると認識しにくい場合があります。間隔をあけずに発音ください。 （例）ラボ　　でんきつけて　➡　ラボでんきつけて
	声が響く環境、声を張っての発音や語尾を上げる発音は認識しにくい場合があります。
	周囲の音が大きいとき、音声を認識しにくい場合があります。
	類似語、方言などを認識したり、動作しにくい場合があります。
	音声での操作は照明器具本体がch1のみ操作可能です。付属のリモコンでご確認ください。（8ページ）
勝手に点灯する	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音を認識する場合があります。
	速報音で自動点灯します。ご不在の際も屋外の放送を認識して自動点灯する場合があります。
勝手に消灯する	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音を認識する場合があります。
その他	本シーリングライトを複数台、近距離で設置した場合には動作にずれが生じたり、動作しにくい場合があります。

リモコンで点灯状態を調節し記憶させる

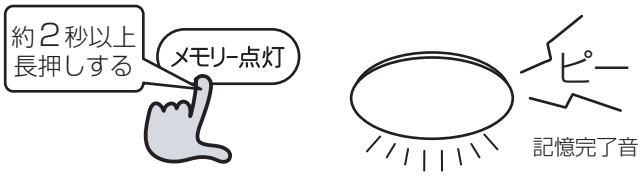
リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みの明るさを記憶することができます。

① 照明器具を点灯させる。



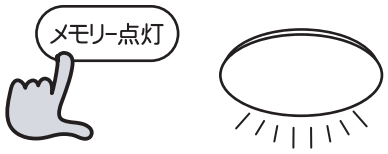
② リモコンの「調光ボタン」を押してお好みの明るさに調節する。

③ お好みの明るさに調節後、その状態でリモコンの「メモリー点灯ボタン」を長押しし、点灯状態を記憶する。



●リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。

④ リモコンの「メモリー点灯ボタン」を押すと③で記憶された明るさで点灯します。



●常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。

●出荷時は全灯状態が記憶されています。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない	壁スイッチがＯＦＦになっている。	壁スイッチをＯＮにしてください。 **⇒5ページ・・・**
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	器具のコネクタを確実に接続してください。 **⇒4ページ・・・**
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 **⇒5ページ・・・**
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れてください。 **⇒5ページ・・・**
	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。 **⇒5ページ・・・**
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	壁スイッチをOFFにしてください。 **⇒5ページ・・・** リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 **⇒5ページ・・・**
	音声認識による誤作動。	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音で反応する場合があります。 **⇒6ページ・・・**
	速報音で点灯した。	速報音で自動点灯します。ご不在の際も屋外の放送を認識して自動点灯する場合があります。**⇒6ページ・・・**
勝手に消灯する	ｏｆｆタイマー３０分／６０分がセットされている。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分を解除してください。 **⇒5ページ・・・**
	音声認識による誤動作。	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音で反応する場合があります。 **⇒6ページ・・・**

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

リモコンの便利な使いかた

2台までのリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

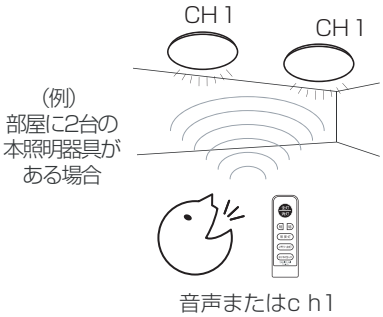
チャンネル設定でできること

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

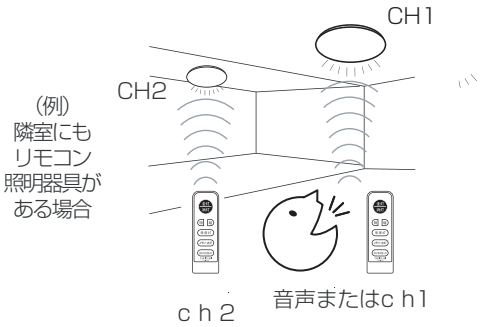
また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

注）音声での操作はチャンネル1のみになります。

●複数の器具を同時に点灯できます。

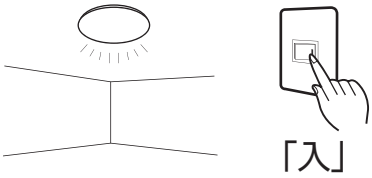


●近くの器具を別々に点灯できます。

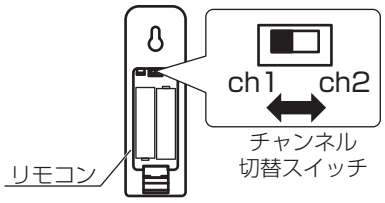


チャンネルの設定方法

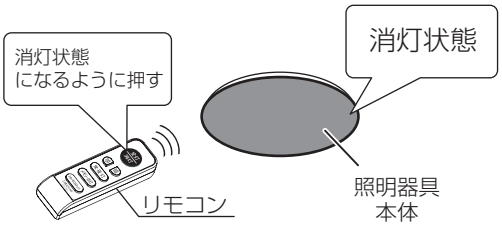
●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



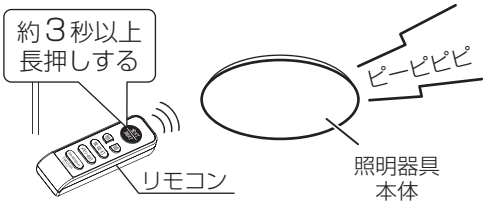
照明器具本体をch2に設定する場合	照明器具本体をch1に設定する場合
① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。	① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。



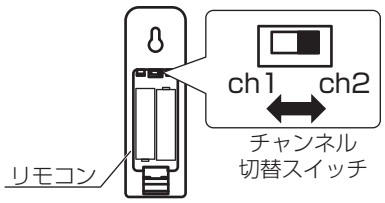
② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。	② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。



③ リモコンの 全灯/消灯 を押して照明器具を消灯状態にする。	③ リモコンの 全灯/消灯 を押して照明器具を消灯状態にする。



④ 照明器具本体にリモコンを向けて、全灯/消灯 ボタン」を約3秒以上、長押しする。 （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2**へ切り替わります。） ※この時は、全灯状態になります。	④ 照明器具本体にリモコンを向けて、全灯/消灯 ボタン」を約3秒以上、長押しする。 （「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1**へ切り替わります。） ※この時は、全灯状態になります。



⑤ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。 （照明器具本体のチャンネル設定が **ch2**に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）	⑤ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。 （照明器具本体のチャンネル設定が **ch1**に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません）**

●リモコンに使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

リモコン送信部

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：35.8W　常夜灯：1.3W　待機時：1W以下	0.37A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。(本体、LED器具の点灯装置)　但し、付属部品は**1年間**です。
お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外(例えば業務用等や車両、船舶等に搭載)に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	ROX80156	保証期間（お買い上げ日から）	本体、LED器具の点灯装置 ： 5年間 カバー、付属部品など ： 1年間	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前		販売店名・住所・電話番号		
	ご住所　〒　　－				
	電話番号　（　　）　－				

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

Sample（見本）

MEMO

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

本製品自体に関するお問合せは

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120−226−544

受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く)　9:00～17:00

http://www.takizumi-denki.com/

音声操作に関するお問合せは

「専用ダイヤル」フリーダイヤル 0120−967−178

受付時間/月～金（土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く）　10：00～17：00